

目次 道教研究のすすめ——その現状と問題点を考える

はじめに

秋月観暎 I

〔歴史・社会〕
道教と隋唐の歴史・社会

砂山稔 1

序言—— 3

一、明治以後の日本の道教研究の動向—— 4

二、道教と隋唐の歴史・社会—— 8

(一) 道教と中国の歴史・社会

(二) 道教と隋唐の歴史・社会

国家Ⅱ皇帝と道教 士大夫と道教 民衆と道教

(三) 道士・道教教団・宗派

道士 道教教団 道教の宗派・学派

結語—— 32

〔思想・宗教〕
道教思想の研究と問題点

福井文雅 39

はじめに — 41

一、研究史（初期～第三期） — 42

二、研究史第四期（一九七二年～現在）の特色 — 44

(一) 研究の国際化

(二) 研究者の増加

(三) 道教学の独立

(四) 資料の新出

『道蔵』の再刊 敦煌文書 考古資料

(五) 研究対象の新展開

台湾道教 現地調査と儀礼研究

(六) 「思想・宗教」研究のテーマ

三、研究史第四期の問題点 — 58

(一) 外国語文献利用の必然性

(二) 新出資料以外の資料

(三) 現地体験の欠如・不足

四、「思想・宗教」研究の課題 — 62

(一) 三教交渉史

道・仏交渉史の分類 道・仏相違論

(二) 「気」の研究

(三) 「道教」の定義

民衆道教 道家と道教との関係論

(四) 道教と日本との関係論

五、今後の課題 — 74

(一) 現地調査の問題点

(二) 雑学のすすめ

〔道教文献〕

道蔵の成立とその周辺

尾崎正治 79

一、道蔵所収文献に対する研究 — 81

はじめに 道蔵の研究 道蔵の工具書 道教文献の個別研究

二、道蔵未収文献に対する研究 — 87

敦煌鈔本の研究 道蔵未収文献の摘出とその利用

三、新修道蔵の編纂 — 89

新修道蔵の編纂 おわりに

道教文献所在目録 日本篇 — 91

〔文学〕

中国小説における道教——とくに統金瓶梅と太上感應篇—— 小川陽一 111

はじめに—— 113

一、中国小説における道教についての研究の現状—— 113

道教文学についての論考 中国小説の中の道教 研究の現状 明清小説の中の道教

小説は日常生活の記録

二、統金瓶梅と太上感應篇—— 118

小説における善書 『統金瓶梅』の作者 『統金瓶梅』の内容 『統金瓶梅』と「太

上感應篇」

道教関係中国文学研究文献目録—— 129

〔民俗〕

「残された中国」の現地研究—— 可児弘明 159

中国大陸から「残された中国」へ—— 161

先行する欧米人の現地研究—— 162

道教的文化と文献史学、民俗学—— 175

イベント的な総合調査—— 179

新しき芽生え—— 189

〔科学〕

道教と科学技術—— 坂出祥伸 199

はじめに—— 201

一、中国文化における科学技術と宗教—— 207

二、中国科学技術史研究の現況—— 219

結びにかえて—— 231

〔海外諸地域〕

中国・台湾における道教研究の現状—— 松本浩一 235

はじめに—— 237

一、中国の道教研究—— 242

二、台湾の道教研究—— 252

〔海外諸地域〕

欧米地域における道教研究の現状—— 山田利明 257

はじめに — 259

一、ヨーロッパ各国の道教研究の現状 — 261

1、フランス

シッペール教授 ロビネ女史 道蔵研究班

2、西ドイツ

シュタイニンガー教授 若い研究者

3、イギリス・オランダ

オランダ 第四回日仏學術シンポジウム

二、アメリカ・大洋州 — 274

1、アメリカ

西海岸 中国宗教研究会 中・東部 カナダ オーストラリア

シンポジウムをふりかえって

野口鐵郎 285

編集後記

福井文雅 293

◎本文挿図・華人社会の孟蘭盆会／可児弘明 — 167

◎編者十執筆者略歴 — 298